

先週土曜日に、三木総合防災公園にある陸上競技場で、**北播小学生陸上競技記録会**がありました。

わたしは、各競技を見て回り、南っ子の挑む姿を写真に撮っていました。リ

レーのバトンタッチの様子を撮ろうとファインダーを覗いていると、南っ子が、バトンをもって自分の方に走ってくる仲間に対して両手を合わせて何か祈っていました。そして、見事にバトンをもって全力でわたしの前を駆け抜け、次の仲間にバトンをしっかりと手渡しました。そして、その仲間が走り行く方に向かって、また手を合わせていました。何を祈っていたのでしょうか。心が温くなる光景でした。

別の競技で、走り終わった直後の南っ子に、「どうだった。」と尋ねると、思わぬ言葉が返ってきました。「楽しかった」。たくさんの人に支えられて長い練習を乗り越え、大きな舞台での緊張の中、たくさんの人に見守られながら力を出し切れた心地よさがこの言葉になったのでしょうか。

きっと、次に向かう力を、体中に感じたことでしょう。

5年生男子、6年生女子のリレーが決勝に進出しました。実のところ、5年生男子は、練習時の記録からとても決勝に残るのは無理だろうと思っていました。それが、本番で5秒も記録を伸ばしました。思わぬことが起こるのも大会のいいところです。大会でしか伸ばせないこと、大会でこそ育てたいものがあります。

< 6 位入賞者 >

◇ 5 年男子ソフトボール投げ 2 位 福永 蒼 5 5 m 7 0

◇ 5 年女子走り高跳び 5 位 工藤あずさ 1 m 1 0

◇ 6 年女子 4 × 100 m リレー 5 位 5 9 秒 0 2

(大久保葉月 森岡めい 玉田向日葵 永藤汐里)

月曜日の朝、職員室前に掲示されている各クラスの数人が書いてある黒板の前で、5年生の男の子が計算機を手を持って何かぶつぶつ言っています。「全部足して 1 7 9。7 で割って、2 5. 5 7 . . . 。それから、十分の一の位を四捨五入して 2 6。南小の学級の**平均**人数は 2 6 人や！」。算数で習ったことを、早速生活の中で活かしています。そんな、自主的な学習につながる授業をしたいものです。さて、次は何の平均を求めるのでしょうか。



閉会式の後。明日へジャンプ。

